

令和4年11月

## 新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

この度、現行のTSH刺激レセプター抗体検査で使用している体外診断用医薬品キットと同等の性能を有するバイオアッセイ法を利用した新試薬が同一試薬製造販売元より発売され、受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。なお、新規項目の受託開始に伴い、現行のTSH刺激レセプター抗体は令和5年3月30日受付分をもって受託を中止させていただきます。

弊社におきましてはご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので今後共引き続きお引き立ての程お願い申し上げます。 敬白

\*\*\*\*\* 記 \*\*\*\*\*

### ■新規受託項目

#### 項目コード No.31506 甲状腺刺激抗体

	新	旧
項目コードNo.	31506	31505
検査項目名	甲状腺刺激抗体	TSH刺激レセプター抗体
検体量	血清 0.3mL	血清 0.5mL
保存方法	冷蔵	凍結
容器	T1	T1→S3
検査方法	バイオアッセイ法	Bioassay+EIA法
基準値	110未満(%)	120以下(%)
所要日数	4~5日	4~6日
報告範囲	0~最終値	同左
報告桁数	整数	同左
検査実施料	340点	同左
判断料	免疫学的検査 144点	同左
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>溶血は低値の影響があります。</li> <li>血清以外は検査不可です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>血清以外は検査不可です。</li> </ul> <p><u>令和5年3月30日受付分をもって受託を中止させていただきます。</u></p>

### ■新旧の比較

裏面を参照ください。

### ■開始期日

令和4年12月1日(木) 受付分より

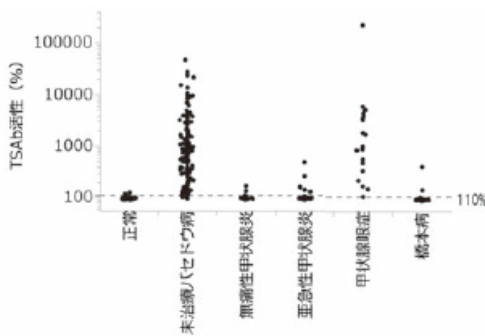
裏面へ続く

22-1138

## ●甲状腺刺激抗体

甲状腺刺激抗体（TSAb）は甲状腺刺激ホルモンレセプターに結合して、甲状腺細胞の機能亢進をもたらす自己抗体です。甲状腺機能亢進症であるバセドウ病では未治療の場合、TSAb 陽性率は 96.6%であることからバセドウ病の診断、治療効果のモニタリング等に有効な指標となっています。また、TSAb は他の検査や臨床所見では判断が難しい甲状腺機能亢進症と破壊性甲状腺機能亢進症（無痛性甲状腺炎、亜急性甲状腺炎）との鑑別診断に有用と考えられています。

## ■新旧の比較(正常及び各種甲状腺疾患における TSAb 活性の分布と判定一致率)



全症例		現行項目		
		陽性	陰性	合計
新規 受託 項目	陽性	202	14	216
	陰性	7	265	272
	合計	209	279	488

全体陽性一致率 96.7%  
 全体陰性一致率 95.0%  
 全体判定一致率 95.7%

試薬添付文書引用

正常		現行項目		
		陽性	陰性	合計
新規 受託 項目	陽性	0	2	2
	陰性	0	104	104
	合計	0	106	106

未治療 バセドウ病		現行項目		
		陽性	陰性	合計
新規 受託 項目	陽性	180	5	185
	陰性	2	2	4
	合計	182	7	189

甲状腺眼症		現行項目		
		陽性	陰性	合計
新規 受託 項目	陽性	17	2	19
	陰性	0	0	0
	合計	17	2	19

無痛性 甲状腺炎		現行項目		
		陽性	陰性	合計
新規 受託 項目	陽性	1	2	3
	陰性	0	50	50
	合計	1	52	53

亜急性 甲状腺炎		現行項目		
		陽性	陰性	合計
新規 受託 項目	陽性	3	2	5
	陰性	0	51	51
	合計	3	53	56

橋本病		現行項目		
		陽性	陰性	合計
新規 受託 項目	陽性	1	1	2
	陰性	5	58	63
	合計	6	59	65

(委託先資料)

以上